

■ 女性をテーマとする民俗学者

瀬川 清子

せがわ きよこ

出身地 鹿角市

1895年（明治28年）～1984年（昭和59年）

柳田国男やなぎたくに おしじに師事し、民俗学みんぞくがくの中でも女性の風俗ふうぞくや生活史の研究における第一人者となる。『女の民俗誌みんぞくし・そのけがれと神秘しんぴ』で第20回柳田国男賞やなぎたくに お受賞。第二次世界大戦後、大妻女子大学文学部教授おおつまとなる。



年譜

- 1895年 鹿角市かづのに生まれる。旧姓・岩船きゆうせい いわふね、本名・キヨ。
- 1924年 東洋大学専門部せんもんぶを卒業。
- 1937年 日本民俗学講座婦人座談会みんぞくがくこうざ ざだんかいをまとめる。
- 1942年 『海女記』あまきを発表。
- 1943年 『販女』ひさざめを発表。
- 1960年 大妻女子大学教授おおつま。
- 1969年 『沖縄の婚姻』おきなわ こんいんを発表。
- 1972年 『若者と娘をめぐる民俗』わかもの むすめ みんぞくを発表。
- 1981年 『女の民俗誌』みんぞくしで第20回柳田国男賞やなぎたくに おを受賞。
- 1984年 東京都ほつで没。88歳さい。